

袋井市は幼小中一貫教育を推進しています。

幼小中つながる通信 vol.26

発行：平成 29 年 9 月 15 日 袋井市教育委員会 教育企画課 幼小中一貫教育推進室 44-3194

「学びをつなげる」幼小接続カリキュラム 「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へ



8月3日 第3回就学前教育推進会議

6月20日 第2回就学前教育推進会議

幼小の接続期に育てたい力を整理

幼小接続

本市では、幼児教育から小学校への円滑な接続を目指し、幼稚園、保育園の教員で構成する「就学前教育推進会議」において「※アプローチ・カリキュラム」と「※スタート・カリキュラム」の作成に取り組んでいます。第2回の会議には小学校教員が加わり、目指す子どもの姿について話し合いました。カリキュラムは、今年度中に作成し、平成30年度からの試行を予定しています。

「生活習慣」、「学びに向かう力」、「思考・表現の基礎となる力」を育てる

幼児期から小学校入学までを見通して、それぞれの発達段階でつきたい力を洗い出し、「生活習慣」、「学びに向かう力」、「思考・表現の基礎となる力」の3つの視点から系統的に整理します。

また、小学校への接続（縦のつながり）だけでなく、どの園でも質の高い教育を受けられること（横のつながり）を意識して、保幼小の先生方が協働して作成していきます。

小学校教員も、幼児期の育ちのイメージを共有する



第3回就学前教育推進会議

アドバイザー：ベネッセ教育総合研究所 次世代育成研究室 高岡純子室長

ベネッセ教育総合研究所の高岡純子氏からは、「保・幼小の先生と一緒に研修し、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿のイメージを共有してほしい。」

また、「今までやってきたことを『学びに向かう力』に置き換えて見つめ直すことが大切。」とアドバイスがありました。

※アプローチ（就学前）・カリキュラムとは

「遊び」や「生活」の中での幼児期の学びが、小学校以降の学習につながる「学びの芽生え」を引き出し、学校生活や学習へと円滑に適應できるように発達段階に応じて確実に経験させたい内容を順序立てて編成したカリキュラム。就学前・カリキュラムともいう。

※スタート（小学校入学時）・カリキュラムとは

小学校へ入学した児童が、幼稚園・保育所・認定こども園などの「遊び」や「生活」を通じた学びと育ちを基礎として、円滑に学校生活に適應するとともに、主体的に学習に取り組んでいくためのカリキュラム。小学校入学時・カリキュラムともいう。

「幼小中つながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 幼小中一貫教育推進室 44-3194

